



雨の日が続き、豪雨による災害のニュースとコロナウイルスの動向のニュースに私たちの心にも雨が降るような思いになったりすることもあります。

私の目の前のゆあちゃん、ひなちゃんが一人歩きを出来るようになり、日ごとに歩数が増えています。つきちゃん、ふみくんは、てんとう虫の車に乗って自分でどんどん進めるようになりました。子どもたちの意欲はとどまることなく、日々成長しています。新しく、いっちゃんがひよこ組に入り、お友だちや保育室に慣れようと頑張っています。

子どもたちの笑顔と愛らしさや健気さはどんな時にもまわりを勇気づけ、明日への希望につなげさせてくれます。

朝夕の送迎時、お家の方とお話する時間があまり取れませんが、子どもたちの元気な様子をきちんとお知らせしていきたいと思います。元気に夏をみんなで迎えましょう。

☆七夕飾りに込めた願いは雨雲をつきめけて空へ宇宙へ



☆新入園児の紹介

五端 一葉ちゃん
みんなと一緒に
楽しく遊みましょうね



☆ぐるりとまわって、ただいま！廊下はホームグラウンドだよ

雨で外に出られなくても
広い廊下で子どもたちは歩き
まわったり、車を押ししたりして、
自由に思いのまま遊びます。
時々、玄関ホールをのぞいては
お客様や他のクラスの保育士に
手を振ります。



☆穴の中へボールがポトン！どこへいったかな？



段ボール箱の穴の中を
のぞいたり、ボールを上手に
落としてみたり。ボールの行方を
探そうと見えない世界に好奇心
いっぱいです。

(福岡 今丸)

☆水遊びのお知らせ

テラスでたらいやバケツにひなた水や湯を
入れ、カップで水を汲んだり、ばしゃばし
ゃとはね散らして遊びます。水に慣れて気
持ちよく遊べるようにと計画しています。
下旬頃の予定です。体調をその日の朝お聞
きします。



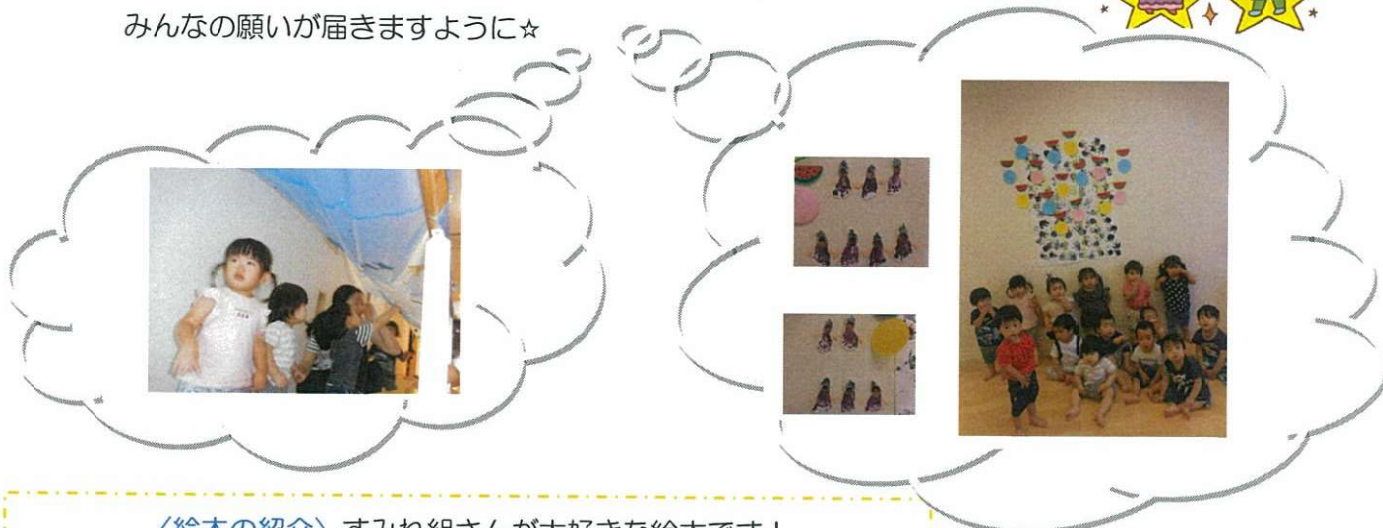
令和2年7月10日(水)

梅雨のどんよりした雲を吹き飛ばすほどの子どもたちの笑い声がお部屋の中を明るくしています。

すみれ組は玄関に飾っている七夕飾りのほかに、指スタンプでスイカの飾りを作りました。最初は指につく絵具を見て驚く子もいましたが、少しずつ慣れてきて、最後には思い思いのスタンプングを楽しんでいました。指の動きによって模様が変わるので、個性豊かなスイカが完成しました。

七夕まつりの日は、七夕の雰囲気味わいに少しだけ以上児クラスが遊んでいる保育室へ行きました。遊戯室の前の廊下には星のトンネルがあり、トンネルをくぐっている時は子どもたちの十八番の「きらきらぼし」の大合唱が始まりました。歌いながら星を指さし「きらきらひかる〜♪」と歌ってる姿はとてもかわいかったです。

みんなの願いが届きますように☆



〈絵本の紹介〉すみれ組さんが大好きな絵本です！

「おばけなんてないさ」

歌いながら読んでいます。最後に「おばけこわくない？」とみんなに聞くと「こわない！（怖くない）」と。でも顔はちょっぴり不安そうです。



「おやすみやさい」

お昼寝の前に絵本の読み聞かせの時に読んでいます。「おやすみやさい」と読むと子ども達も一緒に言ってくれます。野菜が大好になるかな〜？！



☆お知らせ☆

梅雨明けを待って、水遊びを予定しています。また、気温も上がり汗ばむ季節になります。着替えを多めに持たせてください。

衣類やオムツに必ず記名をお願いします。



ちゅうりっぷだより



第4号

令和2年7月10日(金)

本格的な梅雨を迎え、子ども達の靴箱には、赤や青、桃、花柄など様々な長靴が並んでいます。長靴を見ていると童謡「あめふり」の歌詞が頭に浮かんできます。「雨 雨 降れ降れ 母さんが じゃのめで お迎え嬉しいな ピチピチ チャプチャプ ランランラン」子どもの頃、水たまりを見るとワクワクしながら入っていましたか？てるてる坊主を軒に下げて「明日天気にしておくれ」と歌うのも、雨の日の楽しみの一つです。



雨の日も楽しいよ！

①あれ…濡れてないね

ガラス窓から激しく降る雨を見ている子ども達。「朝来る時、雨が降ってたのに、どうしてみんなは濡れてないの？」と聞くと、しばらく考えて、「傘、持ってきたよ」「カッパ、着て来た！」と言葉が出ました。早速、準備していたポリ袋を取り出し、簡単なカッパを作って頭からかぶり「カッパが出来たよ。みんなでこれを着て外に行ってみようか。」と言葉を掛けると「行く、行く！」と大合唱。みんなでカッパを着て帽子をかぶり小雨の中、裸足でベランダへ出ました。丁度、水たまりがあったので「ピチピチ チャプチャプ…」と歌いながら保育士がその中へ入って行くと、子ども達も水しぶきをあげて歩いていました。しばらく遊んだ後、カッパを脱ぎ足を洗って部屋へ入りました。子ども達の服を触りながら「あれ？濡れてないね。」と言うと自分で触りながら濡れてない事に驚いていましたが、「あ～楽しかった。」子どものつぶやきが聞こえてきました。

②新聞紙の雨が降ってきた！

「ほら、雨が降って来たよ。」と言いながら、新聞紙を裂いて子ども達の上に散らしていくと、子ども達も負けずにビリビリ新聞紙を裂き始めました。「雨だ」「雨だ」と、たくさん新聞紙の雨が降りました。数人ずつ子どもを段ボールの家に寝せて、その上からみんなで新聞紙をかけて体を隠していきました。新聞紙の中から「ばあ！」と隠れた子どもの身体が出てくると、部屋中「あはははは！」と笑いで一杯になりました。散らかった新聞紙をポリ袋に集めて、大きなボールを作り、それを投げたり、蹴ったりと遊びは続きました。



線路がつながった！

「先生、電車で遊ぶ。」と毎日、電車で遊んでいる数人の男の子たち。自分の線路を作り電車を走らせて遊んでいる姿が、あちこちにありました。ある日、線路に興味を持った拓海君が一人でせっせと線路をつなげていました。そこへ一人、また一人と電車を持った子がやって来て、その上を走らせて遊んでいます。線路はだんだん長くなり…とうとう一つに繋がりました。その瞬間「わーい、わーい！」子ども達がジャンプして喜びました。電車遊びは今日も続いています。

その中に『S・H君』の姿もありました。6月より一時保育で来ていましたが、7月に入園し、ちゅうりっぷ組の仲間になりました。よろしくお願ひします。

ちゅうりっぷ組 担任

二木 中西



こすもすぐみだより

発行日：7月10日（金）

梅雨期末の大雨が降り続いて国内のあちこちで被害が出ています。束の間の晴れた日にはおもいっきり外遊びを楽しんでいる子どもたちです。「雨が止んだらお外に行きたいな」「もうちょっと暑くなったらお水あそびできる？」と夏の訪れを心待ちにしているようです。コロナウイルスの影響もまだ続きそうですが、子どもたちの心に残る夏になるように遊びを計画していきたいと思います。



★こんなにいっぱい拾ったよ★

七夕の日が近づくと、廊下の天の川や笹飾りを見ていつもと違う雰囲気気付いた子どもたち。「あそこにきららぼしがたくさんあったから欲しいな」「キュウレンジャーみたいに強くなりたいってお願い事書いたから強くなれる？」等と夢を膨らませながら七夕の日を楽しみにしていました。

七夕まつりの当日は、流れ星（フラフープ）に乗って星探しに行きました。遊戯室や宇宙をイメージして真っ暗にしていたたんぼぼ組の部屋を探検しながら、星を探して拾い、首から下げた牛乳パックのカバンの中に嬉しそうに入れていました。「見て、こんなにいっぱい星を見つけたよ」と保育士に見せたり、友だちと見せ合ったりしていました。友だちと2人組になって1つのフラフープに入っただけの出発なのですが「～くんじゃなくて～ちゃんと一緒に行きたい」「あっちに行こうよ」「いや、～ちゃんはこっちに行きたい」とケンカになってしまう姿も見られました。しかし、遊びの中で、お互いの想いがぶつかり合うことも大切な経験だと思い、一人一人の気持ちを受け止めながら見守っています。はりきってフラフープに乗って出発していた子どもたちですが、フラフープを放り投げて星集めに夢中になっている子どもたちの姿に思わず笑ってしまいました。



ごっこあそび

最近、友だちと一緒に言葉のやりとりをしながらまご遊びを楽しんでいる子どもたち。よく家族ごっこやレストランごっこをして遊んでいます。お母さん役や赤ちゃん役、お客さん役など、好きな役になってお友だちとのやりとりを楽しんでいます。「今日は何のご飯を作ろうかしら？」「いそがないと遅れちゃうわ」「ご注文は何にしますか？」「少々お待ちください」となんだか大人びた口調に驚かされたと同時に普段から大人の姿をよく見ているんだなとほほえましく思いました。ごっこ遊びの中で友だちとの関わりや、想像力が育つように子どもたちの遊びを広げていきたいと思っています。



ひまわりだより

令和2年7月10日(金)

梅雨の晴れ間を外遊びで楽しんでいましたが、ここ数日で雨が続いています。普段、雨がふると、長靴を履けたり、傘をさせたりなど嬉しい気持ちがあるようですが、九州各地の被害にあわれている地域のニュースを見ているようで、「車が流されとった」「悲しい気持ちでした」など話していて、子どもたちなりに雨の怖さを感じているようでした。

梅雨の時期は、外で遊ぶ機会が少なくなりますが、室内でも楽しむことが出来る体育遊びやわらべうた遊びを取り入れています。また、晴れた日には、水遊びも計画しているところです。

新型コロナウイルスだけでなく、熱中症など、子どもたちの体調管理、安全対策には十分気を付けていきたいと思っています。

宇宙へ出発

先日、七夕の話合いをする中で、子どもたちの中から、「ロケットに乗って、織姫様と彦星様に会いたい」という意見がでました。次日、早速、グループに分かれ、段ボールのロケット作りがスタート。それぞれ、ここにテープを貼ろう、ここには名前を書こうなど盛り上がった様子でロケットを作っていました。

そして、完成したロケットに乗り、宇宙へ出発する日がきました。朝、保育園には、織姫様から「星を忘れてしまったので、みんなで集めてほしいです」というお手紙が…。その手紙を読んだ子どもたちは、「見つけてあげる」「いっぱい見つけよう」と張り切って保育園に隠れている星を探しに出発！

グループの友だちと協力しながら星を次々に集めていきます。そして、集めてきた星をシートに貼っていき、天の川を作りました。最後に、星の形にくり抜かれたボックスに光を当てて、フラネタリウムに…。

フラネタリウムをみながら、きらきら星を歌いました。

当日は、あいにくの雨でしたが、子どもたちの歌声と短冊に書いたお願い事はきっと織姫様と彦星様に届いたことでしょう。



—ぐんぐん成長中—

先月のクラスだよりでも紹介した、クラスで栽培中のひまわりと朝顔。芽が出てしばらく経ったある日、子どもたちから「もっと栄養あげたらすぐに大きくなるかもよ」という意見がでました。そこで肥料を一緒に足したところ、数日でひまわりの背は高くなり、今は子どもたちのおへそあたりまで成長。朝顔も多くの芽が出始めました。子どもたちは、「栄養あげたけ、嬉しくて大きくなったんやない」と笑顔で喜んでいました。

自分たちで植えた植物のお世話をすることで、植物に親しみを感じ、植物の生命力、不思議さに気付いていくことができればと思っています。



お知らせ

日中の気温が高くなってきて汗をかくことが多くなってきました。着替える回数が増えてきますのでロッカーに着替え用の衣服の補充をお願いいたします。

4歳児担任：草場、崎野

